



発行所
氷川神社社務所

日本唯一
気象神社

〒166-0003
東京都杉並区高円寺南4-44-19
電話 03-3314-4147
FAX 03-3315-0034

氷川神社
公式HP



気象神社
公式HP



高円寺氷川神社
公式 Twitter



第17回
高円寺びっくり大道芸
2025

「第17回 高円寺びっくり大道芸2025」(高南通り)



高円寺びっくり大道芸は、2009(平成21)年に杉並区の文化活動の拠点である劇場「座・高円寺」のこけら落としに合わせて始まりました。「笑いと感動とサプライズ」というキャッチフレーズを掲げ、毎年4月の最終土曜日・日曜日の2日間、ゴールデンウィークの始まりに実施。来場者数は2日間で延べ20万人ほどで、国内外より多くのパフォーマーが高円寺に集結します。商店街内の特設会場や座・高円寺劇場前広場、神社、お寺、公園など高円寺の街全体で選りすぐりのパフォーマンスが楽しめる2日間です。

コロナ禍となり2020年は中止、2021年、2022年は延期、縮小開催となりましたが、一昨年は4年ぶりに4月開催、また高円寺駅南口の大通り「高南通り」を使用して開催することができました。そして今年も昨年同様、2日間開催となり参加商店会各会場、各公園、など高円寺の各会場で50組78人のアーティストが見事なパフォーマンスを披露してくれました。初日は強い雨も降りましたが、すぐに止み快晴に。2日目は終日抜けるような快晴となりました。各会場には多くの来場者が訪れ、高円寺は大いに盛り上がったことで、今回の大会テーマの「凌駕」を感じることができました。



今年17回目を迎えることが出来た「高円寺びっくり大道芸」テーマは「凌駕」

第17回高円寺びっくり大道芸2025



「和の輪のWA！」 みんなのお家 エルガーハウス



4月27日(日)「和の輪のWA！」が開催されました。3年前に初めて開催されたこのイベントも今回で7回目となりました。氏子地域にとっても恒例のものとなり、今回も多くの子どもたちが集まって素晴らしいイベントとなりました。



★かつてのこうえんじん★ (第十五話)

狩野俊



見えない物や出来事を、想像力を駆使して見る、という点で、過去を知ると、未来を予測するのは、似ているように思う。週末ともなれば、観光地のように賑わうエトワール通りの一角が、かつては広大な湿地帯だったことを想像するのは、とても難しい。「地勢低く、湿気に富み、かかる中央には東京電灯株式会社の特送電線路ありて、建築物不可能地・・・」と大正15年に出版された『杉並町誌』に書くのは、この湿地帯を使用した土地に書かれた、高円寺耕地整理組合の初代理事長鈴木堅次郎だ。彼はこの書のなかで「大東京計画と高円寺耕地整理」という題で一文を認めている。そこには「高円寺は西都大郡の中核としてその繁栄をほしいままにすることが出来ると想定していることは痴人の夢ではない」と今日のこの街の発展を見事に言い当てている。

明治20年に駒澤町、現在の三軒茶屋の旧家に鈴木は産まれた。「家は吉良氏の幕下として、徳川氏入城以前より土着すること40年」と記録にある。忠臣蔵で有名な三河吉良家は、事件後に取り潰しとなり、明治まで続いた世田谷吉良家は後継が途絶え、その家を鈴木が預かることになるほど、主家との関係は深かった。明治大学の商学部を卒業し、東京市に事務員として奉職。大正11年に都市計画係長を最後に退職する。大正11年の3月に組合を設立し、事業を始めた。この年の9月1日に関東大震災に見舞われ、高円寺を含む、東京西方に人口が激増し、この事業への追風となる。

「この一帯の土地は深き脛を没する深沢の地にして草はぼうぼうとして道も水路も分けられなく」「かかる土地を改造しを溝渠を設け、排水の設備をなし、道路を開き、橋りょうを架け」という土木工事をほどこした。この書籍が出版された大正15年には「ともかくも高円寺最大の土木事業を完成し」とあるが、高円寺耕地整理組合の事業が全て終わる

のは、昭和15年のこと。鈴木書くところの「いかにひいき眼に見ても高円寺第一の不良地域」「建築地不能たらしむるもの約1萬坪」の土地が、活用できる土地約1萬坪に生まれ変わったのだ。

これに眼を付けた様々な山師が、鈴木のスキャンダルを言い募り、あげくは訴訟騒ぎとなり問題は長引いた。この組合の事業は「杉並のガン」とまで呼ばれるようになる。事実はどうだったか、今となつては知り様がないが、鈴木が執筆し亡くなった後に出版された『世田谷城名残警記』の中に東京市会(現在の東京都議会)でのこんなやりとりが書かれていた。「当時杉並から出ていた弁護士の上三英雄の關係する高円寺方面の耕地整理問題について、鈴木君が痛烈な質問演説を行ったのでした。・三上君が立つて反論し・二人の応酬が二度、三度と繰り返し行われま

したが、これによって鈴木君が都市計画や耕地整理等の問題についても極めて博識な知識の所有者と一度に触れわたり」とあり公の場で堂々と自説を述べる鈴木の姿が残されている。ここに出てくる上三英雄、のちに高円寺耕地整理組合の副理事長となる内田秀五郎はともに立憲政友会で、一方の鈴木は立憲民正党に所属。組合事業に関するもめ事の長期化は、金銭問題がいかに、政争という側面もあつたのかもしれない。

鈴木は都市計画に関する考えは昭和3年に出版された著作『東京府政革新論』に詳しく書かれている。当時の東京市は、15区で構成され、そこに近隣5郡を合わせて現在の23区とほぼ同じ面積となる。関東大震災後に東京市は復興のために市債を次々と発行し18億円(現在の1兆7000億円)に達した。市としては、震災の被害が比較的軽く、その影響で人口が増え、農村から都市へ移行しつつある近隣5郡を合併し、税収を上げると同時に市民一人当たりの負担額を減らす、という方針で動こうとしていた。鈴木はこの考え

方を批判し「純血処女の如き郊外町村」に手を付けるなど書き、「郡部独自の立場に立つて、自己の行政を行い、自己の都市計画をたつ必要上、大荏原市(現在の世田谷区)を設置し、他の郡部も同様の事に出してしめ・いわゆる衛星都市を設置し」と独自の都市政策を披露し、これら郡部の開発を優先することこそが、未来の東京に必要なだと強く訴えている。鈴木の言う他の郡部のひとつ、豊多摩郡杉並町の高円寺での事業こそ、この衛星都市計画、実現の場だったのだ。先の「文に「耕地整理設計の概要と理想」という章を設け、整地したあとの土地に通ず道路の詳細な計画が示されている。「ろこつに言えば高円寺に(東京)市が吐き出すあらゆる階級を引き受けそれ自体が一つの大都市を構成するに至る」。事業半ばで鈴木は理事長の職を降ろされ、彼が理想とした土地は未完となる。

「あらゆる階級は」この未完の土地、大雨のたびに桃園川の氾濫に悩まされる、ゆえに地代の安いこの低地に住み、高円寺での生活を謳歌した。昭和初期に書かれた台湾出身の作家翁鬧(おうのう)の小説『東京郊外浪人街・高円寺界隈』に描かれた一説のように「思想にも審美にも富むと謳(うた)われる高円寺・男女の学生、サラリーマン、ウエイトレス、ダンサー、バリ(バリ)帰りらしい画家、おかつばの文学青年、眼の変わったアヴェックのエトランゼエ」昭和初期に花咲き、今も続いている高円寺の多様さは、この土地から始まったのではないか。

鈴木堅次郎は、東京府会、東京市会と議員歴も長く、名士として生き、亡くなったが、今では地元でさえ、彼を知る人はほとんど居ない。高円寺の熱気を、寛容さを、そしてこの街を愛する人に、彼のしたことを書いておきます。

著者 鈴木堅次郎略歴

- 一、明治二十年駒澤町に生る、家は世田谷城主吉良氏の幕下として、徳川氏入城以前より土着すること四百有年
- 二、日本中学校及び明治大学附科を出で東京市役所に奉職すること十一年、調査課主任及び都市計画課長として自給制百枚の研究に没頭す
- 三、大正六年駒澤町會議員となり引續き當選三回、駒澤町信用組合理事、在原郡學院組合議員、同病院常務委員、明治大學生會常務委員、同校友會理事、同大再同窓會常任理事等其の他十數種の名譽職を擔任す
- 四、東京市會の選任として、選挙界に活躍し又昨年制定の計理士法によつて登録を受け、之に従事し現に全日本計理士協會理事に選任せらる
- 五、此の間政治經濟及び郷土に關する論叢に研究を發表すること數百篇



鈴木堅次郎氏



内田秀五郎氏



三上英雄氏

気象神社建立81周年

この令和7年は気象神社が旧陸軍気象部の敷地内に建立されてから81周年の記念の年となります。

旧陸軍気象部(現在の杉並区立馬橋公園)の気象神社(昭和19年4月10日)



気象神社 例大祭 (気象祭)

日時：令和7年6月1日(日) 14時

場所：気象神社

皆様のご参拝をお待ちしております



昨年の気象祭

今月の花手水

【氷川神社】

- ・五月晴れの三つ巴
- ・鮮やかなこいのぼり

【気象神社】

- ・初夏の太陽
 - ・元気な菖蒲
- ※公式サイトに過去の御朱印を掲載していますので、ご覧ください。



令和7年5月の御朱印



今月の御朱印

◆「なりゆき街道旅」に

気象神社が登場予定

5月18日(日)フジテレビ「なりゆき街道旅」(12時00分~14時00分)に気象神社が登場予定です。お時間があれば、ご覧ください。

※放送予定日や放送内容が変更になる可能性があります。



高円寺北口

◆ご祈祷のご案内

氷川神社では各種祈祷を承っておりますので、お気軽に神社までお問い合わせ下さい。また気象神社では晴天祈願をはじめとする各種祈願を承っております。(会社、法人、団体様のみが対象となります)

いのち 生命の言葉(令和七年五月)



天が自分という人間をこの世に生んだのには、必ず「用」すなわち「使命」というものがあり、とても深い意味をもっている

今月の盆栽



氏子地域の盆栽屋ラビア デッソ様が毎月盆栽を神社に届けてくれます。素敵な盆栽を毎月紹介していきます。



編集後記

ひかわ230号をお送りしました。高円寺びっくり大道芸も無事に終わることができました。この大道芸が終わるとあっという間に大型連休、初夏に入ります。

5月は暑くも寒くもなく湿度も低く、安定した晴れの日が多く、過ごしやすい日が多くなります。ただ局地的に天気崩れて気象病が起こりやすい時期でもあります。皆様も体調にご留意ください。6月1日はいよいよ気象祭です。関係者一丸となり準備を進めていきます。